Ⅰ

みんなで考え
みんなで汗かき
みんなのまちを創ろう

“大家族”が互いに語り合いながら“生活方針”を立て、

それぞれの役割を発揮し、結束しながら“健全家計”を維持し、

みんなが幸せな生活を送れるようにします。

▶ 基本目標Ⅰ　みんなで考え　みんなで汗かき　みんなのまちを創ろう

目標（１）

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

この目標が目指す４年後のまちの姿

◎　まちの課題や目標が市民と行政で共有され、市民が市政を身近に感じ、市政に対する関心・理解、満足感が高まっています。

◎　市民のまちへの愛着が高まり、まちのことを「自分ごと」として考え、まちを大切にし、自分にできる“まちづくり”を行っています。

◎　職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。

目標達成に向けての考え方

「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を未来へとつないでいくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力できる「つながるまちづくり」を進めていきます。

◆ 高浜市に暮らす満足感を高めるためには、まちの課題や目標が市民と行政で共有されるよう積極的なコミュニケーションが重要です。

◆ まちへの愛着を高め、自分にできる“まちづくり”に一人ひとりが関わっていくためには、それぞれが活躍できる・必要とされるステージをみんなで協力しながらつくり上げることが大切です。

◆ 職員は自分に合った地域との関わり方を持つとともに、市民や地域から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。

MEMO

（＊）資料編「用語解説」（72 ページ）参照

こんなことに取り組みます！

☆ 市民と行政がお互いの考えを理解できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、対話の場をつくります。

☆ 市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれのステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。

☆ 職員のワークライフバランス（＊1）を考えた「働き方」改革（＊2）と、職員が地域に関わる“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値（2017）	目標値（2021）	指標の目指す方向
1）市の情報発信に満足している人の割合	47%	65%	↗
2）地域活動に参加したことがある人の割合	63%	70%	↗
3）市民と一緒になって地域活動に取り組んでいる職員の割合	54%	66%	↗

▲みんなでつくるまちづくり

▲高浜の未来について考える

▲地域で活躍する職員

▶ 基本目標Ⅰ　みんなで考え　みんなで汗かき　みんなのまちを創ろう

目標（２）

将来を見据えた健全な財政運営を行います

この目標が目指す４年後のまちの姿

◎　市の財政運営に対する理解が深まっています。

◎　市税などの財源が確保されるとともに、事業の見直しと重点化により真に必要な事業が実施され、少子高齢化に見合った持続可能な財政運営が行われています。

◎　機能複合化（＊3）による公共施設の再編、改修による長寿命化等の取組みが市民に理解され、公共施設総合管理計画が着実に推進されています。

目標達成に向けての考え方

今後の財政見通しでは、公共施設の老朽化に係る財政負担、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費（＊4）の増加が見込まれ、市の財政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。そこで、財政運営に関する情報等を市民と共有するとともに、“入るを量りて、出ずるを制す”の考え方にも留意し、歳入・歳出の両面から財政基盤の強化に取り組むことが欠かせません。

◆ 市の財政運営や税金に関する情報をタイムリーに発信することが重要です。

◆ 市税など財源の確保と真に必要な事業の見極めによる事業の実施により、歳入・歳出のバランスのとれた財政運営に取り組む必要があります。

◆ 公共施設管理に「経営」の視点を取り入れ、真に必要な公共施設サービスを持続しつつ、計画的に公共施設の再編を進めていくことが大切です。

MEMO

（＊）資料編「用語解説」（72 ページ）参照

こんなことに取り組みます！

☆ 市の財政運営や税金に関する情報など、市民の知りたい財政情報を積極的にわかりやすく発信します。

☆ 工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適正化（＊5）など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。

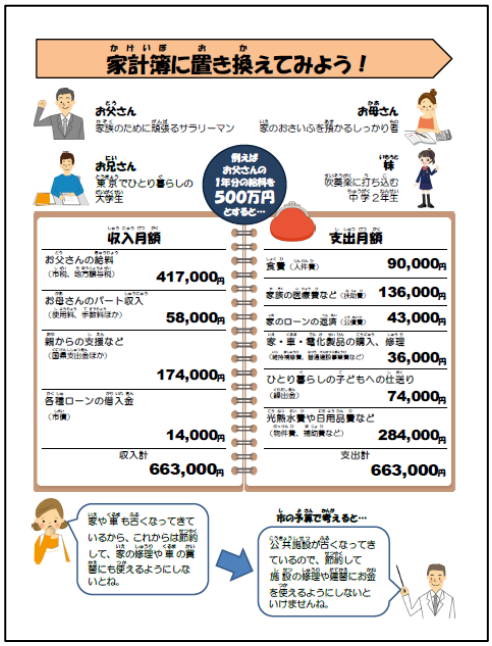
☆ 公共施設の再編や長寿命化に対する市民の理解を高めるとともに、順次、個別施設計画を策定し、公共施設総合管理計画の着実な推進につなげます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値（2017）	目標値（2021）	指標の目指す方向
1）経常収支比率（＊6）	㊟88.8%	80%台維持	→
2）将来を見据えた財政運営が行われていると思う人の割合	47%	55%	↗

㊟経常収支比率の現状値（2017）88.8%は、過去 5 年間（平成 24 年度～28 年度）の平均値です。

▲H28 中学生総合学習の写真
（中学生が市の財政を勉強しているようす）



▲「予算の使いみち」
（市の予算を家計簿に置き換えてみよう！）